

市 民 活 動 ニ ュ ー ス



MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

発行◆514-0004 津市栄町1丁目954県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター
Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072 Email npositu@evnm.mie.ntt.ocn.ne.jp
県NPO室ホームページ◆<http://www.evnm.mie.ntt.ocn.ne.jp/npositu/index.htm>

1999年

1・2

月合併号

平成11年1月25日発行

三重県市民活動センターの 常勤スタッフ3人にインタビュー

三重の市民活動の拠点、三重県市民活動センターのキーパーソン。3人の常勤スタッフにインタビューしました。土曜、日曜も開いていて、夜は午後10時までOKのシステムを支える3人です。「また来たいと思ってもらえるところにするためには……!？」目下奮闘中のみなさんにおうかがいしました。

【NPO室から】

NPO法人の申請を受け付けています。

1月18日までの三重県内のNPO法人申請団体を紹介します。NPO室では、NPO法人の申請の相談もしています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

1月、2月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

NPOリレーインタビュー

「市民活動情報センターin四日市」の井上淳之典^{あさのすけ}さん

音楽や教育、食を通して、いつの間にか市民活動をはじめていたという四日市市の井上淳之典さん。井上さんは「市民活動情報センターin四日市」という全国の市民活動の情報をまとめて配信する活動を開始しました。市民による市民活動を活性化するシステムの仕掛けはどうなっているのでしょうか？

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

三重県市民活動センターの スタッフを紹介します。

「三重県市民活動センター」は夜間や休日にもオープンするために3人のスタッフが交代で常駐しています。3人のプロフィールなどをご紹介します。

紀平早由美さん



●市民活動への興味は？

市民活動というわけではないんですけど、十数年前から安濃町の食生活改善推進委員会の委員として活動しています。

例えば地域で一人暮らしの方に声をかけて、健康に注意するための食事の仕方とかをお話したり。井戸端会議の延長みたいなものですね。あとは町の方から依頼されて1歳半検診の時に離乳食の見本を作ったりしました。

1年に1回ですが身体障害者の人との交流ということで一緒におにぎりを作ったりもしました。

●市民活動センターでの仕事はどうですか。

いい所に入れてもらったなって思ってます。入った当初は置いてあるチラシやパンフレットを読み漁りました。ここに来る人は誰もがイキイキしていて羨ましいし、尊敬できる人が多いです。来る度にパワーをいただいて帰ってます。私もこれから先、何をしたいかが少し見えてきました。今はまだ試行錯誤の段階ですけど、環境の分野に興味があるので置いてある図書を読んだりしています。

「また行きたいなと思える雰囲気の中に」と室長から言われたのですが、その通りだなって思ってます。

西村誠仁さん

●市民活動への興味は？

父が主催している「四日市自然友の会」の活動をサポートしています。ボランティアというよりも、もう日常生活の中に組み込まれているって感じです。

毎月最終土、日には工作教室などを開催したりしています。そのほか、盆やお正月に博物館などで自然教室などをしたり。昨年11月に菟野町で開かれた「自然に親しむ集い」にも工作教室で参加しました。

●市民活動センターでの仕事はどうですか？

ここに来る人たちはみんな市民生活に根ざした活動をしているけど、僕が父を手伝っていたのは趣味感覚だったので最初はギャップがありました。自分自身、まだよくわかっていないので電話での対応でも答えづらいこともありますし、まだ教えてもらうことの方が多いです。でも父との活動の参考になる点もたくさんあるし、何より人脈が広がります。今後は市民活動のことを何も知らない人がここに来た時にもちゃんと説明できるようになればと思っています。あと、自分の活動の時に撮った写真があるんですけど、ここに貼れたらなあって。でもみんなが貼り出すとスペースがなくなるから無理かなあ。



松本美穂さん



●市民活動への興味は？

大学生の時から多文化共生のボランティアをしていました。これは異文化、違いを大切にしようという概念が中心の考え方で、その立場から外国の人々との関わりを見ていこうというものです。国際交流と言う方が馴染みがあると思いますが、私は多文化共生という言葉の方が好きなんです。卒業後は大阪府豊中市のとよなか国際交流協会に昨年の12月まで勤めていました。ここではニュースレターの編集や、イベントの企画運営などをしていました。あと、大切な仕事だったのは情報提供と、行政やNPOとそれを必要としている人とのコーディネートですね。

●市民活動センターでの仕事はどうですか？

いずれは三重に帰ってくるつもりだったので市民活動センターの動きは以前から知っていました。勤めてからの印象はのんびりした感じ。関西ではいい意味でのNPO同士の競合が始まっていますが、それに比べるといろんな意味でこれからかなと思います。ただ関西は関西でNPOという名前に縛られている感じがするのですが、ここはNPOは市民社会を考えるうえでのツールや切り口のの一つであるという語られ方をしているのが印象的です。これからの活動としてはもっと情報を集めれば良いと思います。情報があれば人も集まってくるし、私自身が持っている情報やノウハウもその中で活かせば良いなと思っています。

【NPO室より】

NPO法人申請を受け付けています。申請に関する書類はだれでもごらんいただけます。

福祉活動や環境など様々な分野で活動を行っている市民活動グループに法人格を与え、社会的に認知する特定非営利活動促進法(NPO法)が昨年12月1日に施行されました。12月号では名張市の「赤目の里山を育てる会」、亀山市の「夢創エヌ・ピー・オー」を紹介しましたが、その後さらに申請があったところをご紹介します。関係書類は三重県生活部生活課NPO室及び各県民局生活環境部に備えてあるので自由にごらんいただけます。

【3】

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人アスクスネットワーク
 申請年月日 平成10年12月8日
 代表者の氏名 大橋憲司
 法人の事務所の所在地 四日市市西日野町2740番地の8
 縦覧期間 平成11年3月8日まで
 認証の種類 設立
 定款に記載された目的 この法人は、市民活動団体の情報化を支援するとともに個人における情報利用技術の向上を図るために、インターネット活用の普及等社会活動における情報化推進に関する事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【4】

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人鈴鹿共同保育の会
 申請年月日 平成11年1月13日
 代表者の氏名 山中幹雄
 法人の事務所の所在地 鈴鹿市神戸五丁目12番6号
 縦覧期間 平成11年3月13日まで
 認証の種類 設立
 定款に記載された目的 この法人は、保育を必要とする児童の適切な保護に関する事業を行い、児童の心と体の豊かな発達を保障すること及び働くものの権利を守り、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。

【5】

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人 居宅支援システム実践
 申請年月日 平成11年1月13日
 代表者の氏名 久米広毅
 法人の事務所の所在地 津市大倉10番21号
 縦覧期間 平成11年3月13日まで
 認証の種類 設立
 定款に記載された目的 この法人は、三重県内に居住する高齢者が自宅において良好な日常生活を継続できるよう真心から具体的なサービスを提供するとともに、高齢者が安らげる社会システムを創造・発展させるための事業活動を推進し、もって県民全体の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

【6】

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人 三重県高齢者福祉問題研究会伊勢まごころ
 申請年月日 平成11年1月18日
 代表者の氏名 大西良太

・法人の事務所の所在地
 ・縦覧期間
 ・認証の種類
 ・定款に記載された目的

伊勢市八日市場町3番20号
 平成11年3月18日まで
 設立

この法人は、なんらかの手助けを希望する人々を対象にたすけあいの精神に基づいた福祉サービス活動を受け手と担い手が対等な関係を保ちつつ行い、その活動を軸にし、老いても病んでも長期まで自分らしく安心して暮らしていくことのできる地域社会の創設に努め福祉の向上及び社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

(平成10年12月18日～平成11年1月18日申請分)

1月～2月に開催される

講演会などのご案内

市民活動に関する講演会
 やイベントです

“夢は実現した／風力エネルギー新時代”

東洋一!風力発電所稼働歓迎記念講演会

- とき／1月31日(日)PM1:30～4:30
- ところ／三重大学三翠ホール(津市上浜1515)
- 参加費／無料

●内容／三重大学の学生を中心とする環境サークル、三重大学環境ネットワーク(Canねっと)が、今年1月に完成した三重県久居市の久居榊原風力発電所1号機の稼働を歓迎・記念して、“夢は実現した／風力エネルギー新時代”と題する講演会を開催します。内容は高校生レベルでも分かるように配慮されているそうです。

【プログラム】

- 1:30…主催者挨拶・三重大学環境ネットワーク
- 1:40…大学CO₂調査の報告・学生有志
- 2:00…清水先生の熱風トーク「風力エネルギーの歴史・今・未来」
- 3:30…市長さんの正夢トーク「風力発電に魅せられて」

【講演者】

学生有志・大学CO₂調査結果、主に三重大学での結果を中心に報告。
 清水幸丸・三重大学工学部教授。日本の風力発電研究の草分け。日本風力エネルギー協会会長。

久居市長・風力発電所建設計画は、藤岡久居市長の肝いりで始められた。市長がなぜ市立風力発電所の建設を思い立ったのか、市長の風力発電への思いが、熱っぽく語られる。

- 主催／三重大学環境ネットワーク(Canねっと)
- 後援／三重県、三重大学、久居市、MM9(三重県・大学共同プロジェクト)
- 問い合わせ先／三重大学環境ネットワーク事務局
 Tel.090-4187-7907(江端康高)

Email s6hamyo@maric.bio.mie-u.ac.jp(浜崎陽兆)

●温泉、宿泊付きのオプションツアーもあります。
 日本3大名泉の一つである榊原温泉の旅館「紫峰閣」に前日(1/30)に宿泊し、講演会当日(1/31)の午前中に旅館のバスにて風力発電施設を実際に見学するというものです。詳しくは、三重大学環境ネットワークにおたすねください。

講演会

などのご案内

市民活動に関する講演会
やイベントです

男女共同参画社会の実現をめざして

うえの女性フォーラム'99

～いきいきと女男と人との出会いふれ愛!!～

●とき/1月30日(土)PM0:30～PM4:30

●ところ/上野フレックスホテル2階

●参加費/無料

●内容/

【第1部】体験発表

上野ひまわり作業所長、奥西利江さんが「ひとりのねがいをみんなのねがいに」というテーマで作業所づくりを通して学んだことを。

上野商工会議所まちづくり副委員長、田中愛一郎さんが「温もりの伊賀暮らしへ」と題して女性と情報化まちづくりについて話します。

【第2部】女優の松居一代さんの講演会

テーマ「いまこそ女性の輝けるエネルギーを！」

子どものアトピーを通して、健康の大切さ、母親の強さを語ります。このほか、上野市で活動するさまざまな女性グループの活動展示もあります。

●託児、手話通訳もあります。男性もぜひ、参加してください。

●申込・問い合わせ先/上野市女性政策課Tel.0595-21-4111
(内線2151)

●主催/うえの女性フォーラム'99実行委員会、上野市

「保育サポーター養成講座」

●とき/2月2日(火)～4日(木)AM9:30～PM4:00

●ところ/三重県女性センター セミナーC室

●参加費/無料

●内容/「保育サポーターとは」「子供の遊びと遊ばせ方」「栄養と食事」「子供の心と身体の発達」など専門家による講座。保育に興味ある方、お待ちしております。また、保育サポーターの登録制度もあります。

●募集人数/40人(定員になり次第締切)

●申込・問い合わせ先/514-0006津市広明町112-5第三いけだビル 財団法人21世紀職業財団三重事務所 Tel.059-228-2300 Fax.059-228-2304

三重県高校生ボランティアネットワーク

エイズと闘うルーマニアの 孤児を励ますフリーマーケット

●とき/2月7日(日)AM10:00～PM3:00

●ところ/四日市市中央緑地第2体育館 Tel.0593-45-4111

●内容/ヨーロッパ全体で7,200人のエイズ小児感染者のうち、4,200人がルーマニア。ルーマニアはチャウシェスク政権時代、国力

を高めるために無理な人口増殖計画をすすめたため、困窮家庭では捨て子が相次ぎ、栄養失調の孤児が増加、そうした子どもたちの治療の際、輸血に用いられた注射針が使い回された結果、エイズ感染が広がり、その上政府が対策をとらなかったことも原因といわれています。

●フリーマーケット物品提供のお願い/日用雑貨品・タオル・石けん・食器・瓶詰めの食品・新品の衣類・装飾品・電卓・小型ラジカセ・使用済み記念切手・使用済みテレホンカードなどのカード・おもちゃ・絵本・新品の文房具類・スポーツ用具・贈答品・中古CDなど…

※生もの・古着・期限切れの物はご遠慮ください。売上金のすべては、募金として、ルーマニアの孤児を励ます救援のために使わせていただきます。

●提供・問い合わせ先/510-1233 三重郡菟野町菟野1011-1
菟野ライオンズクラブ事務局 Tel.0593-94-3030
Fax.0593-94-3369

【伊賀ボランティアフォーラム'99】

●とき/2月7日(日)PM1:30～PM4:30

●ところ/青山ホール(名賀郡青山町)

●内容/

【基調講演】「21世紀の福祉とボランティア」

講師 桃山学院大学上野谷加代子教授

【ボランティアフォーラム】テーマ「ボランティアアドバイザー徹底研究」進行役に上野市社協ボランティアコーディネーター乾光哉さんを、助言役に上野谷加代子教授を迎えて、青山町や名張市で活動するボランティアがパネリストとして登壇します。アドバイザーとコーディネーターの違いや関連、連携の取り方など、これからのボランティア活動の動向を探りながら、基調講演からフォーラムへ移行し、徹底研究をおこないます。

●参加費/無料

●申込・問い合わせ先/青山町社会福祉協議会
Tel.0595-52-2999(松本)

●主催/青山町社会福祉協議会、名張市社会福祉協議会、伊賀町社会福祉協議会、阿山町社会福祉協議会

人にやさしい住まいとは、 地球にやさしい家とは…… を市民のネットワークを通して考えます シンポジウム「住まい方、暮らしの知恵」

●とき/2月7日(日)PM1:00～受付

●ところ/サンライフ松阪体育館(松阪市民文化会館となり)

●内容/一生のうち一番長い時間を過ごす住まいとはどうあるべきか?これから新築をと考えている方、増改築を考えている方、住まいに興味のある方、是非きてください。

コーディネーター

元日本木材青壮年団体連合会会長 黄瀬 稔
パネリスト

松阪市地域婦人会連絡協議会会長 新家照子

松阪市PTA連合会会長 久保敦子

地球人倶楽部代表 玉野隆司

松阪商工会議所青年部会長 周藤雅勝

(社)三重県建築士会松阪支部監事 山田幸三

※先着100名様に苗木をプレゼント!

●主催/日本木材青壮年団体連合会松阪地区青和会

●後援/松阪市、松阪市教育委員会

【オンブズマン講演会】

「障害者のためのオンブズマン制度の在り方を考える」

………クラブEKOフォーラムⅢ

- とき／2月10日(水)PM7:00～PM9:30
- ところ／三重県総合文化会館・小ホール
- 講師／インゲル・クラウン・ヴェステルバリエさん 大滝昌之さん
- 参加費／1000円
- 内容／オンブズマン(Ombudsman)はもともと「代理人」を意味するスウェーデン語で、現在は自治体、あるいは議会が設置する「行政監査官」を示す言葉になっています。オンブズマン発祥の国スウェーデンでは、消費者、男女、人権差別、子ども、障害者など、様々な政策分野における法律遵守状況を把握する専門的なオンブズマン存在しています。この時、「施設」という普通ではない生活を送ること自体が人権侵害とされるというスウェーデンからハンディキャップオンブズマンを招き、オンブズマン制度の実際の仕組みを直接聞くことは大きな意義を持つことになると思います。当日は、スウェーデンでご活躍の大滝昌之さんに、日本とスウェーデンの橋渡しをお願いすることにしてあります。ご来場をお待ちしております。
- 申込・問い合わせ先／柳誠四郎 尾鷲市新田町21番55号 Tel.05972-2-7134

「福祉分野からボランティアの原点を考える」

三重県ボランティア連絡協議会研修会

- とき／2月14日(日)AM10:00～PM3:00
- ところ／高田青少年会館(津市一身田)
- 内容／
【午前】愛知県社協ボランティアセンター運営委員の富田君子氏の講演。テーマ「福祉分野からボランティアの原点を考える」と、伊勢市ボランティア連絡協議会会長の泰道詞子さんをコーディネーターに、手話、点訳、給食サービスなどさまざまな分野のボランティアによるディスカッション。
【午後】参加者全員による分科会「わいわい放談」
- 参加者／県内各市町村ボランティア連絡協議会会員、ボランティアに興味を持つ一般の方。
- 参加費等／無料(受け付け時に弁当代600円)
- 応募方法／2月1日(月)までに、郵送かFaxで下記へ
- 申込・問い合わせ先／514-8552 津市桜橋2-131 県社会福祉福祉会館内三重県社会福祉協議会ボランティアセンター内三重県ボランティア連絡協議会事務局 Tel.059-227-5145 Fax.059-227-6618
- 主催／三重県ボランティア連絡協議会
- 後援／社会福祉法人三重県社会福祉協議会

21世紀「共生社会」を私たちの手で 「第7回まほろば」

- とき／2月13日(土)14日(日)AM10:00～PM4:00
- ところ／津リージョンプラザ
- 参加費／無料。但し、講演会には入場整理券が必要

●内容／

- 【講演会】13日(土)PM1:00～
テーマ／「一人ひとりの生き方が歴史をつくる」
講師／作家の山崎朋子さん
※この講演会のみ入場整理券が必要となります。整理券は津市役所案内、津リージョンプラザ総合管理事務室、各支所・公民館、津市女性行政室で1月22日(金)から配布します。
- 【参加型企画・分科会、ワークショップ】
13日・「メディアの中の女たち」「演歌の中の女たち」「映像で見る女たち-鑑賞と討議-」という3つの分科会が開催されます。
14日・「エイズと教育」「それぞれの古い支度パートV」「花とくらし」「20世紀を語りましょう」「作って食べよう懇談会」というワークショップが行われます。
※このほか、両日にわたって生け花や押し花などの展示が行われるほか、14日には人形劇や詩舞、太極拳などがお城ホールで披露されます。
- 講演会、分科会は手話通訳、託児(1歳～就学前まで、費用はおやつ代程度)があります。託児希望の方は2月8日(月)までに津市女性行政室へ申し込んでください。
- 申込・問い合わせ先／津市女性行政室 Tel.059-229-3103
- 主催／津市、まほろば実行委員会

【三重県女性センターよりフォーラムのご案内】

男女共生社会をめざして

「フレンテ・フォーラム」

- とき／2月20日(土)AM10:00～PM4:30
- ところ／三重県女性センターフレンテホール(多目的ホール)
- 参加費／無料(定員400人)
- 内容／
【午前の部】
・フォトコンテスト表彰式
・モノオペラ「青のモチーフ」
夫を捨て一人で娘を育てる童話作家の悩みや生活を描きます。
・パネルディスカッション
テーマ「さまよう女たち」
コーディネーター／錦かよ子さん(「青のモチーフ」の作曲家)。
パネラー／演出家のたかべしげこさん、原作・台本担当の武村知子さん、細谷毅さん。
- 【午後の部】
・女性の政策・方針決定の場への参画支援セミナーフォーラム
「地域リーダー養成講座」公開講座
PM1:15～
・つボイノリオさんの講演「つボイノリオのゴミ減量(秘)大作戦」
…21世紀カウントダウン1999年をどんな形で残しますか…
その後、ラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」でお馴染みのつボイさんをコーディネーターに迎え、フォーラムを開催します。
※託児(2歳～就学前)、臨時学童保育のほか、手話通訳もあります。事前に予約してください。
- フォーラム参加応募締切／2月2日(火)までにTelで申し込んでください。
- 申込・問い合わせ先／三重県女性センター
(津市一身田上津部田1234番地 Tel.059-233-1130・1131)
- 主催／三重県、(財)三重県文化振興事業団

支援のよびかけ

「三重ダルク」発足！みんなで育てましょう！

(ダルク=ドラッグ・リハビリテーション・センター(薬物依存からの回復自立支援組織))

複雑で生きにくい社会状況の中、いろいろな事情から薬物依存の苦しみに落ち込んでしまった人々の立ち直りを支援する組織=ダルクが、ようやく三重県にも開設できることになりました。

近鉄津新町駅から徒歩10分、という至便な所にスペースを得て、2月1日オープンをめざして準備がはじまりました。

景気低迷のこの時期、そして、すでに、いろいろな方面に寄附や献金をしておられる方々に、重ねてカンパをお願いするのは心苦しいのですが、ひと口100円、毎月1~5口をお願いできないでしょうか？何口にしていただくかは、あなたのご都合でお決めください。ただ、月65,000円の家賃の一定部分をコンスタントにひきうけたいと思いますので、毎月確実にお納めいただける定額にしてください。

●お知り合いの方にこのことをお知らせください。少数者が多額のお金を担うのではなく多くの方にご理解いただいて、三重ダルクを育てることができればと思います。

1999年1月8日 三重ダルクを共に担う会(仮称)

発起人・ロバート・ネリグ(カトリック津教会主任司祭)、加藤清次、一木八千子、小津慶二郎、小野幾子、鈴木伸子、東野久子、村山敬子、山根静江、宮西俊秀、宮西いづみ

●問い合わせ先／

カトリック津教会 Tel.059-228-2580 Fax.059-229-2305

宮西自宅 Tel.059-229-7997

室町時代からの伝統的祭を守るため

ヤーヤー祭練り参加者募集

(尾鷲神社社務所と福祉・東紀州振興NPO「帯刀会(たてわきのかい)」より)

●とき／2月2日(火)~2月4日(木)(PM6:00~PM9:00の時間帯)

●ところ／尾鷲市川原町(1番当屋町)、尾鷲市林町(2番当屋町)、尾鷲市向井町(3番当屋町)

●内容／東紀州を代表する神社の一つである尾鷲神社は、大宝年間(801年~804年)に伊勢神宮の末社として現在の地に鎮座し、永祿年間(1558年~1570年)に更に播磨の国姫路(兵庫県姫路市)の廣峯神社の祭神、須佐之男命を勧請し今日に至っています。

この時期は、戦国時代でもあり近郷・近在との戦いが絶えず、この尾鷲神社の2月の例祭、「ヤーヤー祭」は、この時代の勝ち戦を後世に伝える為にできたものと言われています。ヤーヤー祭のヤーヤーは「ヤーヤー我こそは」という合戦での武士の掛け声に由来しています。

最盛期(昭和12年頃)には練り参加者(軍勢役)は毎日3000人程度集まっていた様です。今日、東紀州地域は過疎化の激しい波に覆われ、練り参加者が集まらず毎日、数百人程度しか集まりません。このため、尾鷲神社社務所及び氏子総代会、自治会等で各事務所等にヤーヤー祭への参加を呼びかけているところです。今回、市民活動ニュースを活用し、県民の方々に幅広くボランティアの募集(練り参加者)を呼びかけているところです。県民の方々の幅広い参加を求めます。お気軽に下記の連絡先にご連絡ください。詳細は尾鷲神社社務所まで。

●申込・問い合わせ先／いずれかにご連絡ください。

尾鷲市北浦町12-15 尾鷲神社社務所 坂本宮司

Tel.05972-2-1486 Fax.05972-2-8838

鈴鹿市白子駅前5-25 福祉・東紀州振興NPO「帯刀会(たてわきのかい)」代表 池田憲嗣 Tel.090-3934-1175

骨髄移植の推進を呼びかける生命のドラマ

演劇「華」

●とき／2月28日(日)PM2:00開演

●ところ／松阪コミュニティー文化センター

(松阪市川井町字上大坪690番地 Tel.0598-23-2111)

●内容／白血病や再生不良性貧血などの難治性血液疾患は、以前は有効な治療法もなく、治りにくい病気とされてきましたが、現在は骨髄移植が画期的治療法として大きく期待されています。しかしながら、骨髄移植を待つ患者にとってドナー登録者は、まだまだ不足しているのが現状であり、さらに多くの登録者を確保する必要があります。このため、今回、広く県民に骨髄移植及び骨髄バンクへの理解を求め、ドナー登録者の増加を図る目的で演劇「華」を開催します。

●当日は骨髄バンク臨時登録窓口も設置されます。

●参加費／入場無料

●申込・問い合わせ先／松阪地方県民局保健福祉部衛生検査グループ Tel.0598-50-0529

●主催／松阪地方県民局保健福祉部、勇気の会松阪支部(三重県骨髄バンク推進連絡会議)

●協賛／キルトサークル・ブチ(パッチワーク展)

映画上映『見えない学校』

●とき／2月20日(土)

●ところ／あさけプラザ(四日市市下之宮町)

●参加費／大人 前売り1,500円 当日1,700円

学生 前売り1,000円 当日1,200円

(小学生以下は保護者同伴無料)

●上映時間／AM10:00~、PM2:30~、PM6:30~

●伊勢真一監督&登場人物による「映画をめぐるよもやま話」PM4:45~PM6:00

●内容／子育てや福祉や教育や自分自身と向き合う人々の『見えない学校』を求めて、北へ南へ、カメラは出会いを重ねる。そして、フィルムは、一人ひとりの観客に出会う。「ここには、見えない学校がある…」

演出／伊勢真一 撮影／石倉隆二

16ミリカラーフィルム／1時間52分

●チケット・問い合わせ先／Tel.0593-63-4990

Fax.0593-63-4989(井上)

●主催／映画「見えない学校」四日市上映委員会

●後援／四日市市、四日市市教育委員会、四日市市社会福祉協議会

がんばれネットワーク

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。上野市の「ウィリアム・テルズ アップル」代表の中村伊英から紹介されたのは四日市市で「市民活動情報センターin四日市」を開いている井上淳之典(いのうえあきのすけ)さんです。

きっかけは「食」と教育

……井上さんが市民活動を始めたきっかけは何ですか？

ここに至るきっかけは二つあるんです。一つは高校時代に病気をしたこと。西洋医学ではなかなか治らなくて、にたどり着いたのが「食」ということでした。23歳で自然食の草分けと言われる桜沢如一さんの本に出会って、玄米食を始めたら1年も経たないうちに身体が変わっていったんです。

もう一つは故郷の名古屋で進学塾教師を7年したことです。ここは小中学生対象のスパルタ進学塾で、徹底的に教えるということをしました。そこで気付いたのは懇切丁寧に一生懸命教えれば子どもはちゃんと勉強ができるようになるかといえばそうじゃないということ。それなりに成績は上がるし、目標の学校に合格もするけれど塾から卒業して一人放り出された時に自分で勉強する力がついていないことが見えてきたんですね。それで考える力というのはどうすればつくのかと考えて、思いついたのが食や日常生活を直すこと。自分がそれで病気を治した経験があるから、そこに教育を考える鍵はあるんじゃないかと思ったんです。

その後、塾を辞めて東京にある桜沢如一さんがつくった日本CI協会という自然食の普及団体で研修生という立場で勉強半



自宅の庭の一角に建てられた建物が情報発信の拠点です。

市民活動情報センターin四日市

あきのすけ

代表 井上淳之典 さんに

聞く



分、仕事半分の生活を始めました。ここは料理教室や身体と健康と病気のつながりを学ぶレクチャーをやったり、食品販売をしていて全国に3,000人くらい会員がいる結構大きな組織でした。そこで雑誌の編集や講座の準備、会場の設営等をやっていました。それを通じて、東京という場もあったんでしょね、たくさんの人と知り合い、それが今やっていることのベースになっています。

……三重県に来たのはいつですか？

今住んでいる四日市は妻の故郷で、結婚話がまとまってこちらにきました。94年1月のことですから、5年前ですね。

集まった情報を独り占めせずに再発信

……5年前にスタートした割には急速に活動が大きくなりましたね。

今のようになるとは5年前は全然思っていなかったですね。当時はお金はないし、全く新しい所で新しい仕事を始める。これはやれることをやるしかないなと思います自然食品の店と塾をやろうと思いました。ところが店や塾など活動の拠点ができると人の出入りが出てきて、情報がやってくる。入ってきた情報を自分で独り占めするともったいないと、通信物を出すようになっていって、それがまた情報になって帰ってくるという感じ。自然にこういう風な感じになっていったんです。余り大きな規模でやってないからできるんですけどね。

情報発信だけでなく自然食にしても、塾もいわゆる進学塾の考え方ではなくて、自発性や自己決定といった一人ひとりにもともと備わっている「生きる力」に着目した塾だし、自分はやっていること全てがNPOだと思っているんです。これまでは「楽食らくだ塾」という名前でしたが今年から「寺子屋プロジェクト」と改めました。柱は塾と店それに、市民の情報センター的な「市民活動情報研究センターin四日市」です。

……時間の使い方が難しくはないですか？

工夫しましたね。塾と店をオープンするのを月水金の2時からにして必ず私がいるようにすれば、それ以外はフリーに動けますよね。私に会える時間帯を決めておけば、人は訪ねやすいたらうと思ったんです。

……「市民活動情報研究センターin四日市」というのはどんなことをしているのですか？

情報発信のほか、市民活動のグループ同士や人を繋げる役目もしています。北海道の精神障害者回復施設「べてるの家」のビデオを紹介するという活動で事務局になっているほか、講演会とかを企画するなかでいろんなプロジェクトの事務局的なことをうちがすることが多くなってきました。それで「子



掲示板には様々な情報が張り出されています。

「子どもが不登校なので困っている」とか「ガンになった友に食事で気をつけることを教えて欲しい」という相談ばかりでなく「今度講演会をしたいのでチラシのつくり方や人の集め方を教えて欲しい」という相談までが舞い込むようになってきて、自分の知っている範囲で答えたり、人を紹介したりしてきました。

……運営費はどうしていますか？

寺子屋プロジェクトの中で収入が一番多いのは塾の部分です。この収入を全体の運営費に回している状態ですが、ゆくゆくはそれぞれのプロジェクトが自立して運営できるようにして行きたいと思っています。

……市民活動情報研究センターin四日市は会費制ですか？

寺子屋かわらばんという寺子屋プロジェクト全体のニュースレターの購読会員が全国に150名ほどいますが、この方たちからは購読費として郵送料程度いただいています。さらに日刊、週刊のFax通信も出していますが購読料としていただいています。

……全国に会員がいるということは情報も全国の情報を集めて再配布するという形なんですか？

最初はそれをやっていたんですけど、やっぱりニュースレターに載せられる情報はこの近辺のものになってしまうんです。ですから購読会員はイベント情報が欲しくてというよりは中身を読んでくださる方が多いです。

……会員の人数は？

考えてみれば人間一人ひとり、違っているのは当然で、違っている人たちがいかに対立関係にならずに一緒にのこをやっていくかということがこれからは大事でしょうね。



部屋の中の様子です。

専従スタッフは私を含めて5人です。うちは本当にゆるやかなネットワーク。広い意味でいうとニュースレターを読んでくださっている方や塾の生徒さんも、お客さんも会員なので会員数を聞かれると困るんですよ。最大限まで枠を広げると2,000人くらいになるんじゃないですか。

……NPO室との繋がりはいつできたのですか？

昨年3月に四日市で行われた東京でフリースクールをやっている奥地圭子さんの講演会のためのミーティングが年明け早々にあって「三県フォーラムの集まりがあるからよかったら顔を出してください」と参加者の方から誘われたんです。NPO室を知ったのはこの時ですね。

「違い」と出会う

……井上さんのネットワークとNPO室のネットワークとは別でしょう。

自分のしている分野以外の人もいるので面白いですね。

……同じ分野じゃない人との繋がりで市民活動は活発になっていくんでしょうね。

今まで企業にしても、行政にしても組織が社会を発展させていくうえで大きな役割をしてきたんですけど、個人の思いをどこかで切り捨ててきた部分があると思うんです。そう思うと同じ興味を持ち、同じ考えで集まっている組織はどこか不自然でしょう。その中にいると自分自身が見えないということがありますよね。むしろいろんな興味を持って、いろんな考え方の人が集まって何かやるということの方がこれからは面白くなってくるだろうな。

……締めつけの厳しい所は活力をなくしますね。組織を越えて、個人が繋がるのがネットワークの基本でしょうね。

違いと出会うというのがここでやっていることの中心のコンセプトなんですね。「一つの考えに集約しよう」という考えの裏側には違っているということはいけないという価値観があるわけです。考えて見れば人間一人ひとり、違っているのは当然で違っている人たちがいかに対立関係にならずに一緒にのこをやっていくかっていうことがこれからは大事でしょうね。

市民活動情報研究センターin四日市

住所/510-8001 四日市市天力須賀4-9-19

Tel.0593-63-4990 Fax.0593-63-4989

井上さんはこの人を **紹介** します。

石川直也さん。井上さんと共に「べてるの家」の上映会を企画してきた仲間という石川さん。最近、「そよ風のおくりもの～もう一人のあなたへ～」というタイトルの本も出版しました。市民活動歴は約20年。食のことや農業、環境などの分野を掘り下げて考える勉強会なども行っています。

編集後記

新年第1号「市民活動ニュース」は、情報盛りだくさんです。ぜひ、興味のある講演会をのぞいてみてください。自分の世界とは違う世界がそこにあるかもしれません。市民活動団体や県・市町村などが主催する講演会などのイベント情報やボランティア募集の呼びかけ、また三重県内で活動する市民活動グループ紹介など、お気軽にお手紙やFax.でお知らせください。「市民活動ニュース」へのご意見、ご要望もお待ちしております。